

9 故障診断方法と処置

故障・異常の見分け方と処置方法

故障または、異常と判断する前に次の項目を点検し、再度点火操作をしてください。
それでも直らない場合は、『故障診断方法と処置』の項（P16～P20）に従って点検をおこなってください。

●FF-1006S・1006SBT

モニター表示	表示内容	点検項目
E1	●途中で失火した	●油タンクに灯油は入っていますか？ ●油タンクバルブは開いていますか？
E2	●着火しない	●別置タンク内に水やごみが溜まっていますか？ ●給排気筒の先端がふさがれていたり、内部に異物がつまったりしていませんか？
E3	●対震自動消火装置作動	●ストーブにぶつかったり、強い衝撃を与えませんでしたか？ ●ストーブがグラグラしませんか？（水平に設置されていますか？）
表示部 全消灯	●過熱防止装置作動 （安全サーモスタット） ●電源プラグがコンセントに差し込まれていない	●温風吹出口がふさがれていたりストーブの前に障害物が置かれていませんか？ ●対流ファンガードがカーテンなどでふさがれていませんか？また、対流ファンガードに多量のごみやほこりが付着していませんか？ ●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？
E5	●排気管抜け検知装置作動	●ストーブから給排気筒または、排気管のはずれているところはありませんか？ ●排気管抜け検知リード線（灰色）がはずれたり、断線していませんか？
EE	●停電があった	●停電しませんでしたか？
EC	●室温異常上昇防止装置の作動	●部屋の温度が異常に上昇していませんか？ ●ルームサーミスタの抵抗値は正しいですか？（23ページ参照）
EU	●標高切換スイッチの断線	●標高切換スイッチに接触不良がありませんか？（23ページ参照）

故障診断方法と処置

●FF-1006S・1006SBT

故障または、異常と判断する前に次の項目を確認してください。

- 変質灯油や灯油以外の燃料を使用していないですか？
- 誤った設置方法・使用方法をしていませんか？
- ストーブ定格電圧AC100V(50/60HZ)と電源電圧は合っていますか？
- 各コネクタは間違いなく、また確実に差し込まれていますか？

モニター表示

表示内容

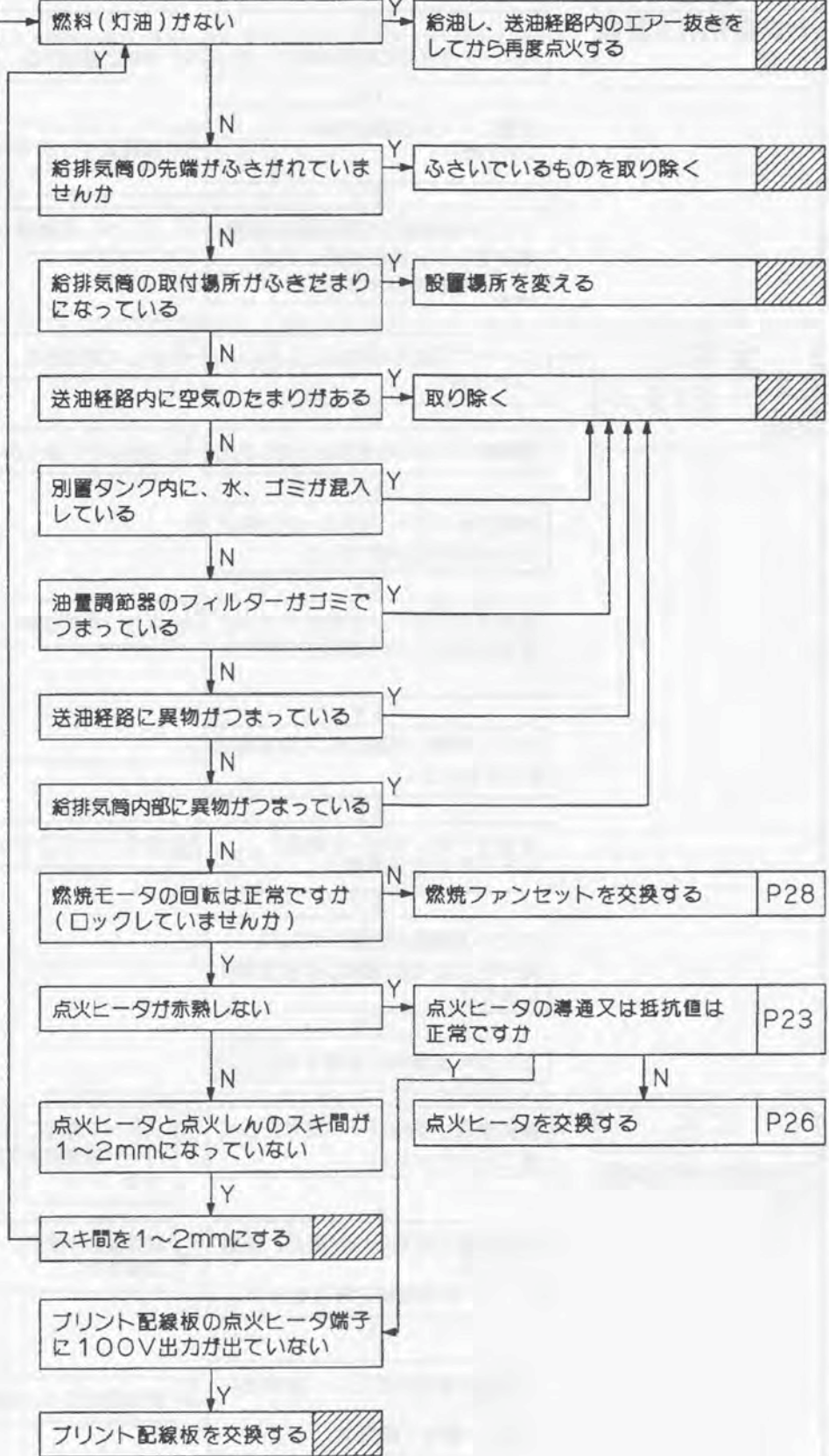
故障診断方法と処置

※参照ページ



※燃料切れ以外の原因の場合は、ポットバーナの中に灯油がたまっていると思われます。必ず点検し、たまっていた場合は取り除いてください。

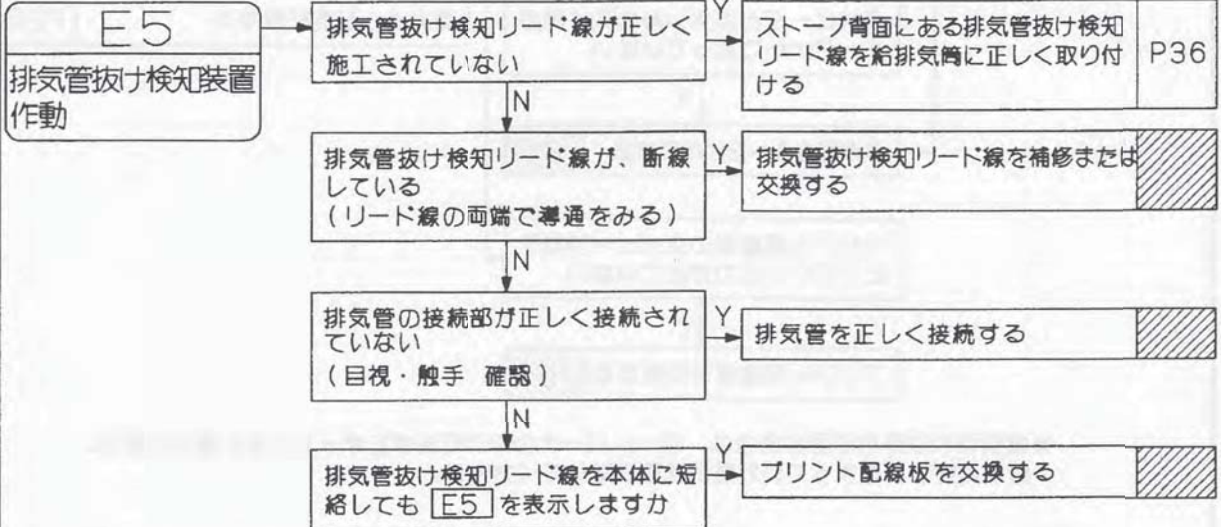
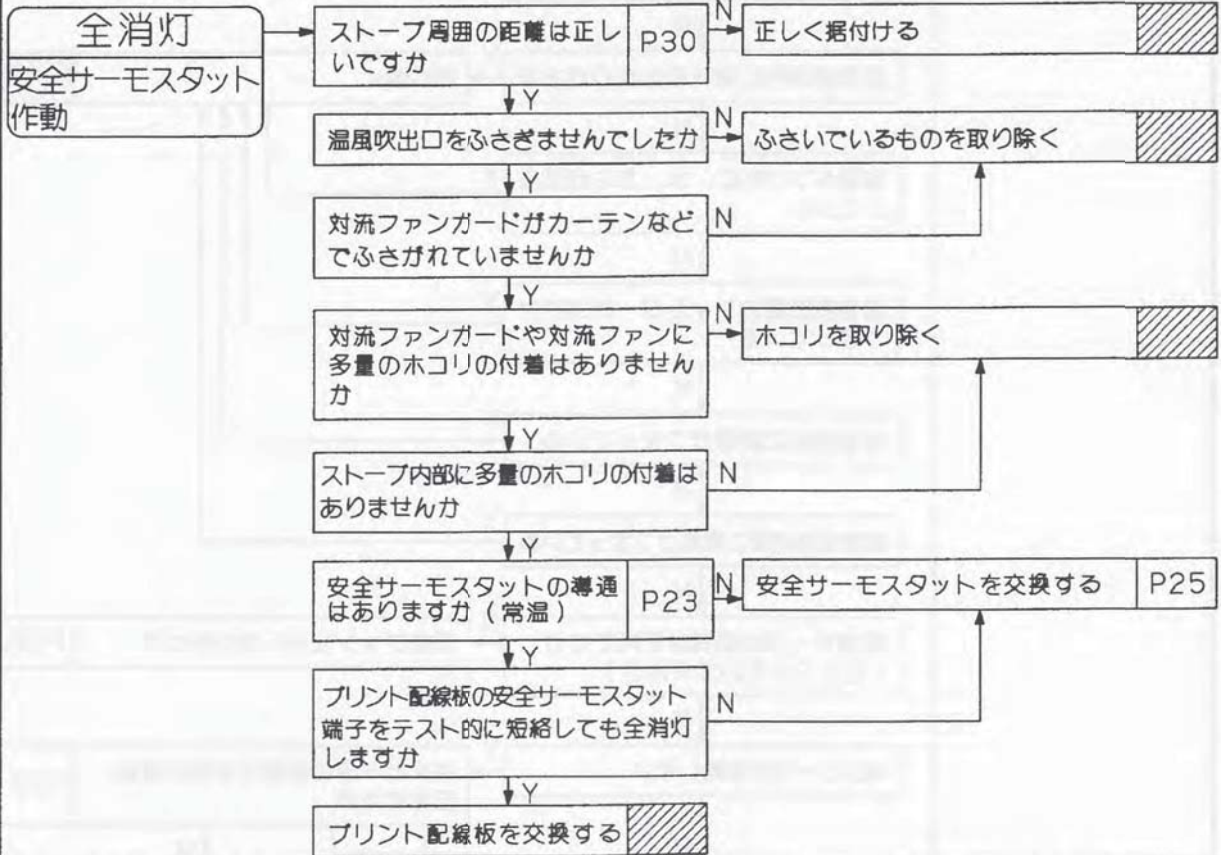
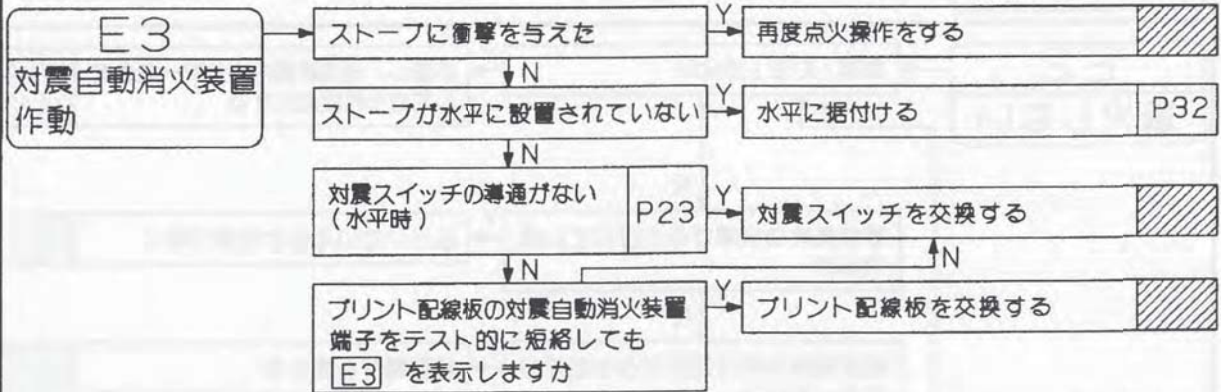
E2
着火しない



※燃料切れ以外の原因の場合は、ポットバーナの中に灯油がたまっていると思われます。必ず点検し、たまっていた場合は取り除いてください。

点灯内容
表示内容

故障診断方法と処置 ※ 原
ページ



点灯内容
表示内容

故障診断方法と処置 ※ 別ページ

